

文学部「海外現地研修A」

日韓関係、韓国市民社会、そして韓国大学生との交流

2018年9月12日から9月15日まで(3泊4日)の予定で、韓国での「海外現地研修A」を実施します。この研修は現代社会学専攻の教員(担任 大畑 裕嗣、副担任 寺田 良一)がコーディネーターとなって企画運営し、近代の日朝関係と現代韓国の市民社会のあり方を示す施設、機関を訪問、見学した後、韓国の大学生と交流して、今後の日韓関係についてともに考えるのを目的にします。

具体的な見学・訪問先は、首都ソウルに位置する西大門刑務所歴史館、環境運動連合事務局、参与連帯事務局と、韓流の起点「冬のソナタ」の舞台にもなった江原道の中心都市、春川(チュンチョン)に所在する翰林(ハルリム)大学校です。

植民地期に独立運動家たちが収監された西大門刑務所は、現在では歴史館となっており、近代日韓関係の負の側面を痛感させられる施設となっています。環境運動連合と参与連帯は、ともに民主化された韓国の市民社会を代表する市民運動団体です。翰林大学校では、実際に日本学科の授業に参加させてもらい、日本語を学んでいる韓国の大学生たちと語り合う場を持つ予定です。

「海外現地研修A」(1単位)の内容は、上記の現地研修プログラムへの参加、明治大学で行う事前ガイダンスと研修前授業各1回、帰国後の報告会(公開を予定)、レポート(6000字程度)提出となります。シラバスもあわせてご覧ください。

現地研修期間：2018年9月12日～9月15日(予定)

- 9/12 東京発、仁川(インチョン)空港を経てソウル着
- 9/13 西大門刑務所歴史館見学、環境運動連合、参与連帯訪問
- 9/14 ITX(高速鉄道)で春川(チュンチョン)へ移動
翰林大学校の授業に参加し、現地大学生と交流
- 9/15 ソウル発、仁川空港を経て東京着

事前・事後授業

- 研修前ガイダンス：1回
- 研修前授業：1回
- 研修後：報告会及びレポート提出
(日時・教室は追ってお知らせします。)

宿泊施設：ソウル市内ホテル(予定)

募集人員：定員12名(最少催行人数 5名)

費用：約8万円(予定)

※一部大学から助成金が出る予定ですが、金額は未定です。

現地研修には、大畑・寺田両名が帯同する予定です。

履修対象者：

原則3年生以上としますが、2年生についても、朝鮮半島のことばや歴史に関する科目を履修している(した)場合には履修を認めることがあります(事前提出する「志望動機」に関連履修科目について具体的に記入してください。)

履修（参加）申し込み方法：

*4月5日、現代社会学専攻の専攻別ガイダンス（3年、4年）において科目の説明を行います（他専攻所属学生もしくは現代社会学専攻2年生は、これに参加する必要はありません。）

*4月17日18時までに「志望動機」をA4用紙、1枚のレポートにまとめ（氏名、学年、学科、専攻、学生番号、連絡先Eメールアドレス、（ある場合は）関連履修科目を必ず記入すること）、駿河台文学部事務室内にあるレポートボックスに提出すること。

*「志望動機」の内容にしたがって履修の可否を決定し、事務室を通じて、全員に科目実施の有無と履修の可否を連絡します。履修可となった方は、指示に従い、駿河台文学部事務室においてマークシートに記入して「海外現地研修 A」（1単位）（担当 大畑）の履修登録をします。履修登録後はキャンセルできませんのでご注意ください。

問い合わせ先：

ご質問などありましたら、下記メールアドレスまで連絡してください。
文学部現代社会学専攻 大畑裕嗣 (ohatah29172000@yahoo.co.jp)



（上、左から西大門刑務所歴史館、環境運動連合。下、左から参与連帯、翰林大学校）